

＜一般委託＞

ロイヤルコペンハーゲン展会場施工業務委託(一般委託)仕様書

ロイヤルコペンハーゲン展会場施工業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	ロイヤルコペンハーゲンと北欧デザインの煌めき展(会期:令和5年9月16日～11月5日)での作品展示のための会場を設営するとともに、会場誘導のための案内、展覧会告知の看板などを制作、設置を行う。
2	履行期間	契約日から令和5年11月8日
3	施行場所	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館
4	業務内容	別紙の特記仕様書のとおり
5	特記事項	作業に必要な用具類を持参すること。 作業で発生した残材等の不要品は、受託者の責任において搬出し、処理すること。また作業終了後は片付けおよび清掃を行うこと。 作業時間は原則として各日とも9:30-17:30とする。 設置・設営位置などの詳細は担当者と打ち合わせの上、決定する。
6	資格要件	本業務履行については、下記の資格を有すること。 平成30年4月1日以降に、公私を問わず美術館において会場面積600㎡以上の美術展の会場施工業務の契約を元請として締結し、完了した実績があること。
7	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
8	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
9	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
10	監督員 連絡先	横須賀市鴨居4-1 横須賀美術館 担当:沓沢 Tel046-845-1212/Fax046-845-1216

＜指示又は希望事項＞

<p>グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係</p>	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
---	---

ロイヤルコペンハーゲン展会場施工業務委託 特記仕様書

- 1 件名           ロイヤルコペンハーゲン展会場施工業務委託
- 2 場所           横須賀美術館
- 3 会期           令和5年9月16日～11月5日
- 4 作業日程   業務1、2           令和5年9月4日（月）13時～17時、または5日（火）の8時半～9時半  
                   施工（業務3～6） 令和5年9月9日（土）～9月11日（月）の3日  
                   納品（業務7～9） 令和5年9月11日（月）まで  
                   撤去（業務10） 令和5年11月8日（水）

※いずれも原則として、9時～17時までを作業時間とする。ただし、作業が時間外となる場合は、その費用を見込むこと。

5 業務内容

（寸法はすべてmm表示）数量

1 屋内切り文字看板

1枚

寸法	t10mm、貼付範囲H1,000×W2,000 30文字程度(展覧会名、会期など)の切り文字
仕様	受付カウンター背面の既存壁に切り文字を貼る。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 色は指定色あり。 開館時間外(令和5年9月4日(月)13時～17時、または5日(火)の8時半～9時半)に文字の貼り付け作業を行うこと。 会期終了後は撤去し、壁の損傷(ピン穴、接着剤など)について補修を行うこと。

2 入口バナー

1枚

寸法	H450×W2400 詳細は別紙図面1を参照
仕様	美術館正面入口外の底部分に掲示するため、展覧会名と入口を指示するバナーを制作する。 原稿データは美術館より提供する(レイアウトデザインを起こし、校正は3回行う)。 屋外用シートの両面にインクジェット出力(4色)。会期中風雨や日光によって変質しないこと。 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのためのパイプを通すこと。 結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。
設営場所	美術館正面入口外の底部分 取り付け位置の高さ約3m

3 仮設壁の設営

1式

寸法	①H3600×W6500×D500（鉄骨） ②H3600×W9200×D500（鉄骨）
仕様	指定する場所に仮設壁を設営する。 基本的に、美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネル（H3000×900）を使用する。高さ、幅の調整に必要な資材については、 <b>受託者が</b> 調達するものとする。 既存壁との接合部分やパネルの継ぎ目が目立たないように、寒冷紗を貼付し、パテ調整、水性塗料を二度塗りする。使用する塗料は白色（日本塗装N-95[日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し]）とする。 美術館備品の鉄骨骨組みおよび木製パネルの設営方法について不明の場合は、事前に担当者から十分な説明を受けること。
場所	展示室1、展示室3 *別紙図面2を参照

4 遮光布（のれん）設置

3箇所

寸法	③④⑤1箇所につきH2900×W1800×2枚
仕様	遮光のため、展示室出入口（H3000×W3000）の指定する箇所に、遮光性のある布（グレー）を設置する。上左右辺は留付け、左右の布を中央で一部重ね合わせ、出入口とする。 留付ける壁面はネジの効かない場所もあるので、白く塗装した板等を介在させて確実に固定するとともに、布の末端が見苦しくないように工夫すること。 会期終了後は撤去し、壁側のネジ穴等は原状どおり補修すること。
場所	展示室1、展示室3 *別紙図面2を参照

## 5 年表、画像シート貼付

8か所

寸法	H1600×W3000 2点（年表、作家生没） H1800×W2700 6点（画像）
仕様	年表、画像等を再剥離可能なシートにインクジェット出力（4色）し、指定する壁面に貼付する。原稿はデータ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。展示終了後は剥離し、廃棄する。剥離の際に壁面を損なった場合は原状回復すること。

## 6 目隠しシート

10台分

寸法	（ハイケース1台につき）H600×W2700×1面、H600×W1080×2面
仕様	既存の展示ケース（ハイケース）のガラス面の上部（各3面、床からの高さ2300～1700の範囲）に、再剥離可能な無色半透明のシート（すりガラス風）を貼付する。展示終了後は剥離し、廃棄する。

## 7 展示ケース内置物台

14点

寸法	1100×500×H200 2点 800×400×H200 1点 700×500×H200 1点 450×450×H100 10点
仕様	木材で骨組みを作り、底面を除く5面にベニヤ板（天板はt6mm以上）を張り、紙経師仕上げとする。 紙経師用紙は鳥の子紙とし、指定色あり。

## 8 展示ケース中敷

14枚

寸法	1580×530 10枚 2700×730 4枚
仕様	薄手の羊毛フェルトで、指定色あり。

## 9 キャプションシール

220枚

寸法	H150×W200
仕様	再剥離可能な無色半透明のシートに、作品キャプションを印刷する。貼付先はガラス、アクリル板、塗装壁面の場合があり、それらのいずれでも再剥離が可能であること。いったん剥がしても、貼り直しできることが望ましく、貼り直しできない素材である場合には、それぞれ予備1枚を用意すること。  データ渡しとし、デザインレイアウトを起こし、校正は3回行う。

## 10 壁の補修

寸法	再剥離シート、キャプション等を撤去した後、壁面の穴、汚れなどが目立たなくなるよう補修を行う。必要に応じてパテ埋めを行ったうえで塗装すること。該当箇所は約300箇所。使用する塗装は日本塗装N-95（日本ペイント・N-60・エコフラット・ツヤ消し）とする。
場所	展示室1～3、ギャラリー1、2

## 11 その他

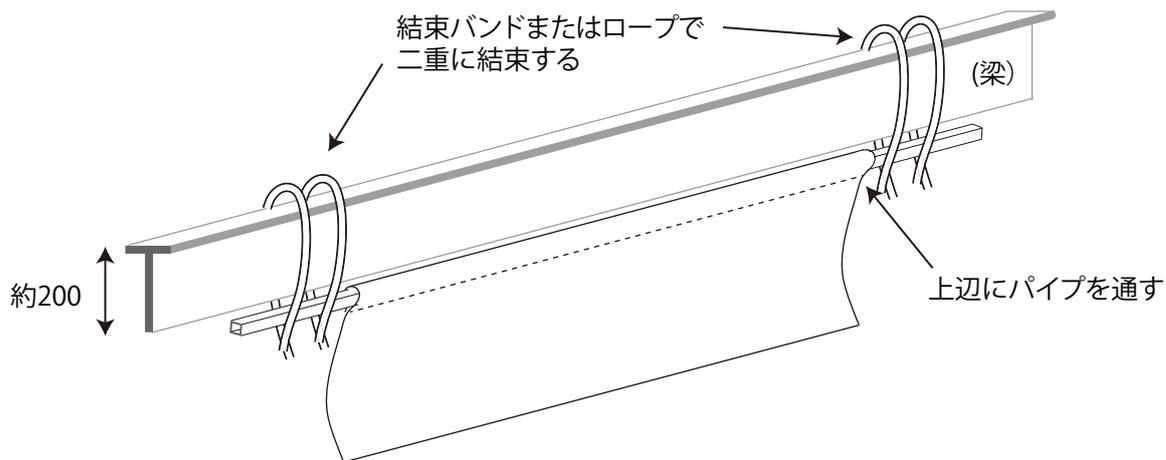
<p>(1) 造作物などに関しては、改善点などある場合は提案し、施工図を提出の上、提案担当者との協議の後、制作すること。</p> <p>(2) 展示工作作業監督者（責任者）を指名し作業期間中は作業場所に常駐させること。</p> <p>(3) 作業の範囲は、該当する箇所の造作物の制作、設置と撤去とする。</p> <p>(4) 作業に必要な機械、工具およびワイヤー、養生テープなど資材は全て持参し、搬入すること。</p> <p>(5) 作業期間中は、指定場所以外における火気の使用を禁止する。</p> <p>(6) 検査をおこなう時は、当該検査に立会い、不備な箇所は直ちに手直しを行うこと。</p> <p>(7) 作業に発生した残材等の不要品は、受託者の責任において搬出すること。また、前回展覧会で設営した壁を撤去する際に発生した残材等についても、搬出すること。</p> <p>(8) 作業終了後は、後片付け及び清掃を行うこと。</p> <p>(9) 接着剤は環境対応型のものを使用すること。</p> <p>(10) 現地確認希望の場合は、美術館運営課にFAXで申し込むこと。</p> <p>(11) その他不明な点は、当館担当者の指示によるものとする。</p>
--

## 別紙図面 1

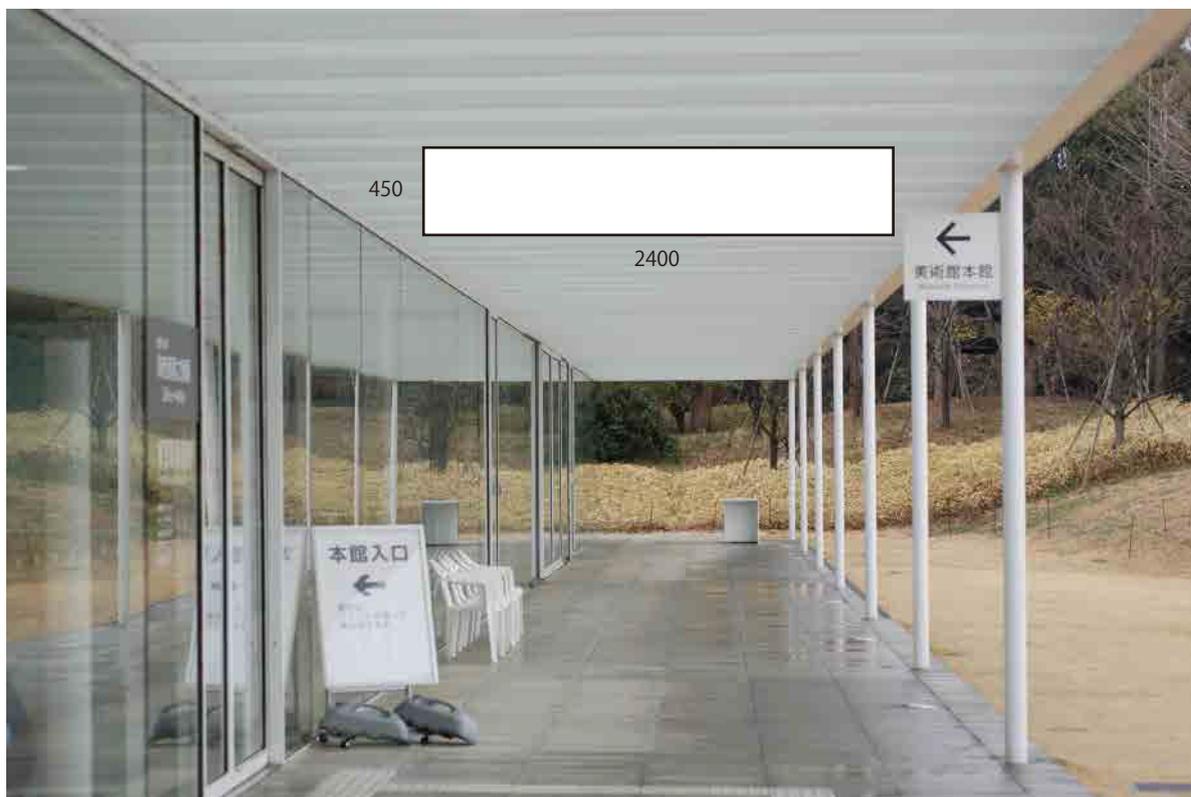
### 入口バナー

- バナーを製作し、美術館正面入口外の底部分に設置する。
- 上辺は袋縫い仕上げとし、水平性保持および取り付けのための角パイプ(20×20、支給)を通すこと。
- 結束バンド等(白色)により、パイプと梁とを結束して取り付ける。梁を損傷しないよう留意すること。バンドは1箇所につき600mm程度必要。

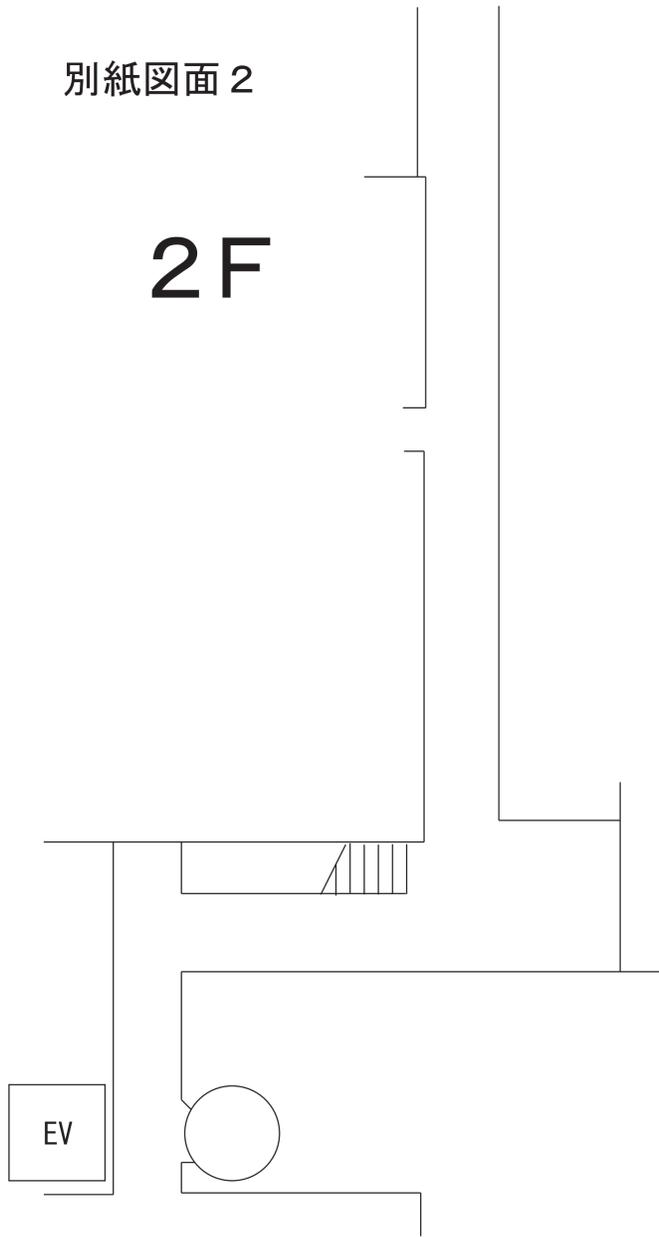
#### 取り付け方法



#### 取り付けイメージ



2F



0 10m

1F

